

経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県 安芸高田市

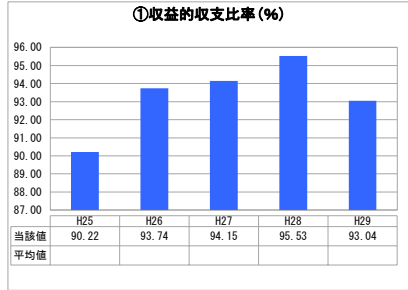
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	28.95	100.00	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,278	537.75	54.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,393	36.13	232.30

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



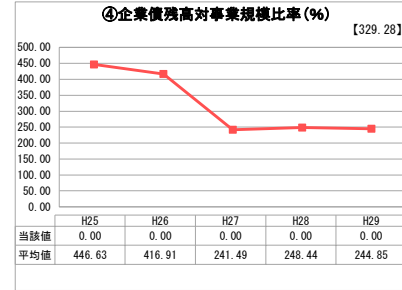
「単年度の収支」



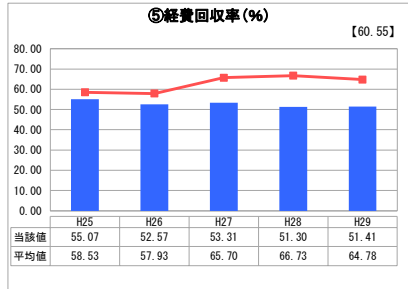
「累積欠損」



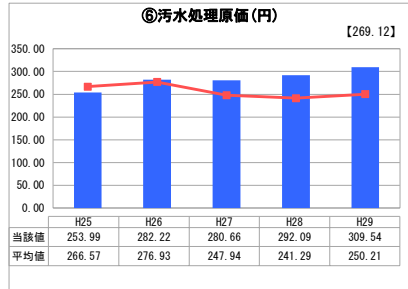
「支払能力」



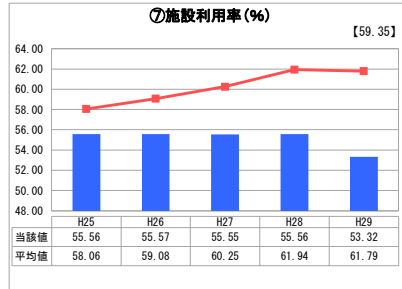
「債務残高」



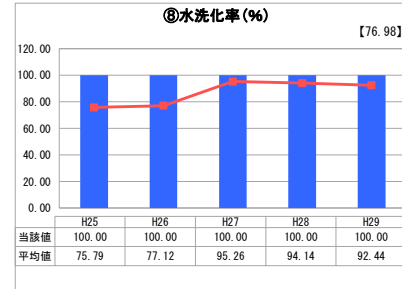
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

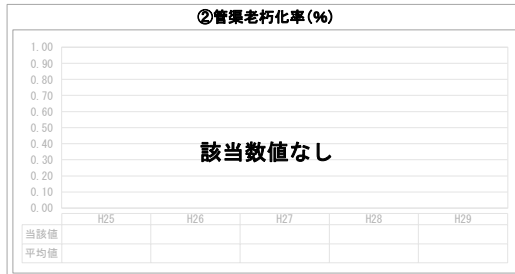


「使用料対象の捕捉」

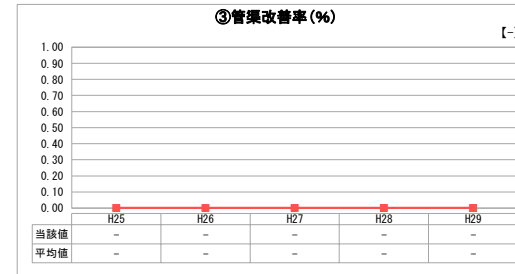
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を表す「①収益的収支比率」は93.04%と90%前半を推移している。管理数は年々増加しているものの、経年劣化等からなる修繕費などの維持管理費も増加し数値的には現況を維持している状況にある。

「⑤経費回収率」は50%前半と使用料で賄えていない状況が見取れる。「⑥汚水処理原価」、「⑦施設利用率」のいずれも類似団体より価格が高いまたは利用率が低い状況となっている。管理数は増加していることから引き続き管理費削減の検討と実施が必要となる。

「⑧水洗化率」については、「現在処理区域人口」＝「実際に水洗便所を設置して汚水処理している方の総数」としているため率は100.0%となっている。

2. 老朽化の状況について

平成12年度から供用開始しており、定期点検を実施しているが経年劣化等による修繕が増加している。今後は、現状に応じた計画的な管理や更新を検討していく。

全体総括

平成28年度から年次更新している経営戦略から経営状況を把握し、事業の継続を目的として効率性・健全性を高めていく。また使用料改定による収入の確保に努め、老朽化してくる施設の計画的な更新を実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。